

ハバクク書

Habakkuk

旧約聖書

第1章

- 1 宣告。これは預言者ハバククが見たものである。
- 2 いつまでですか、主よ。私が叫び求めているのに、あなたが聞いてくださらないのは。「暴虐だ」とあなたに叫んでいるのに、救ってくださらないのは。
- 3 なぜ、あなたは私に不法を見させ、苦悩を眺めておられるのですか。暴行と暴虐が私のそばにあり、争い事があり、いさかいが起っています。
- 4 そのため、みおしえは麻痺し、さばきが全く行われていません。悪しき者が正しい者を取り囲んでいるからです。そのため、曲がったさばきが行われているのです。
- 5 「異邦の民を見、目を留めよ。驚き、たじろげ。わたしは一つの事をあなたがたの時代に行うからだ。それが告げられても、あなたがたは信じない。
- 6 見よ、わたしはカルデア人を起こす。あの強暴で俊敏な国民だ。彼らは地を広く行き巡り、自分のものでない領土を占領する。
- 7 それは凄惨そのもの。彼らはさばきと宣告を自ら下す。
- 8 その馬は豹より速く、日暮れの狼より敏捷だ。その軍馬は跳ね回り、その騎兵は遠くから来て、鷲のように、獲物にさっと舞い降りる。
- 9 彼らはみな暴虐を行うためにやって来る。そろって顔を前方に向け、砂のように捕らわれ人を集める。
- 10 王たちを嘲り、君主たちを笑いものにし、すべての要塞をあざ笑い、土を積み上げて町を攻め取る。
- 11 こうして、風のようにやって来て過ぎ去る。しかし自分の力を神とする者は、責めを負う。」
- 12 あなたは昔から主ではありませんか。私の神、私の聖なる方よ、私たちが死ぬことはありません。主よ、あなたはさばきのために、彼を立てられました。岩なる方よ、あなたは懲らしめるために、彼を据えられました。
- 13 あなたの目は、悪を見るにはあまりにきよくて、苦悩を見つめることができないのでしょう。なぜ、裏切り者を眺めて、黙っておられるのですか。悪しき者が自分より正しい者を呑み込もうとしているときに。
- 14 あなたは人を海の魚のように、治める者のない、這う虫のようにされました。
- 15 彼は、このすべての者を釣り針で釣り上げ、自分の網で引き上げ、自分の引き網で集めます。こうして、彼は喜び楽しめます。
- 16 そのため、彼は自分の網に、自分の引き網にいけにえを献げ、焼いて煙にします。これらにより、彼の分け前が豊かになり、食物が豊富になるからです。
- 17 そのため、彼は自分の網を空にし続けながら、諸国の民を容赦なく殺すのでしょうか。

第2章

- 1 私は、自分の物見のやぐらに立ち、晷にしかと立って見張り、私の訴えについて、主が私に何を語られるか、私がそれにどう応じるべきかを見よう。
- 2 主は私に答えられた。「幻を板の上に書き記して、確認せよ。これを読む者が急使として走るために。

- 3 この幻は、定めの時について証言し、終わりについて告げ、偽ってはいない。もし遅くなっても、それを待て。必ず来る。遅れることはない。
- 4 見よ。彼の心はうぬぼれていて直ぐでない。しかし、正しい人はその信仰によって生きる。」
- 5 実にぶどう酒は裏切るもの。勇士は高ぶっていて、定まることを知らない。彼はよみのように喉を広げ、死のように、満ち足りることを知らない。彼は自分のもとに、すべての国々を集め、あらゆる民をかき集める。
- 6 これらはみな、彼に対して嘲りの声をあげ、皮肉たっぷりに、風刺して言わないだろうか。「わざわざいだ。いつまでなのか。自分のものでないものを増し加え、その上に担保を重くする者」と。
- 7 おまえにかみつく者が突然起き上がり、揺り動かす者が目覚めて、おまえは彼らに略奪されないだろうか。
- 8 おまえが多くの国々を略奪したので、ほかのあらゆる民がおまえを略奪する。おまえは人の血を流し、地に暴虐を行った。町々とそのすべての住民に対して。
- 9 わざわいだ。自分の家のために不正な利得を貪り、悪の力から逃れるために、自分の巢を高い所に構える者。
- 10 おまえは自分の家のために恥すべきことを謀り、多くの国の民を滅ぼした。おまえのたましいは罪を犯した。
- 11 まことに、石は石垣から叫び、梁は家からこれに答える。
- 12 わざわいだ。血によって町を建て、不正で都を築き上げる者。
- 13 見よ、万軍の主によるのではないのか。諸国の民が、ただ火で焼かれるために勞し、国々が、ただ無駄に疲れ果てるのは。
- 14 まことに、水が海をおおうように、地は、主の栄光を知ること満たされる。
- 15 わざわいだ。その裸を見ようと、友に酒を飲ませ、毒を混ぜて酔わせる者。
- 16 おまえは栄光ではなく恥で満ちている。おまえも飲んで、陽の皮を見せよ。主の右の手の杯は、おまえの上に巡り来る。恥辱が、おまえの栄光の上に。
- 17 レバノンへの暴虐がおまえをおおい、獣への暴行がおまえを脅かす。おまえは人の血を流し、地に暴虐を行った。町々とそのすべての住民に対して。
- 18 彫像はいったい何の役に立つのか。彫刻師がそれを刻んだところで。鑄像や、偽りを教える物は何の役に立つのか。これを造った者がそれに頼ったところで。その者は、もの言わぬ偽りの神々を造ったのだ。
- 19 わざわいだ。木に向かって目を覚ませと言い、黙っている石に起きろと言う者。これが教えることができるというのか。見よ、それは金や銀をかぶせたもの。その中には何の息もない。
- 20 しかし主は、その聖なる宮におられる。全地よ、主の御前に静まれ。

第3章

- 1 預言者ハバククの祈り。シグヨノテの調べにのせて。
- 2 主よ、私はあなたのうわさを聞きました。主よ、あなたのみわざを恐れています。この数年のうちに、それを繰り返してください。この数年のうちに、それを示してください。激しい

怒りのうちにも、あわれみを忘れないでください。

- 3 神はテマンから、聖なる方はパランの山から来られる。セラ その威光は天をおおい、その賛美は地に満ちている。
- 4 その輝きは光のよう。ひらめきが御手から上り、そこに御力が隠されている。
- 5 疫病はその前を行き、熱病がうしろに従う。
- 6 神が立ってご覧になると、地は揺るぎ、国々は震え上がる。とこしえの山は打ち砕かれ、永遠の丘は低くされる。しかし、その道筋は永遠だ。
- 7 私が見ると、クシヤンの天幕は不法の下にあり、ミディアン地の幕屋はわなないていた。
- 8 主よ、川に対して怒りを燃やされるのですか。川に対してあなたの怒りを、海に対して激しい憤りを。確かに、あなたは馬に、あなたの救いの戦車に乗っておられます。
- 9 あなたの弓は覆いを取り払われ、ことばの杖による誓いが果たされます。セラ あなたは地を裂き、いくつもの川とされます。
- 10 山々はあなたを見て震え、あふれる水が押し寄せます。深い淵は声を出して、その手を高く上げます。
- 11 太陽と月は、その住む所にとどまり、あなたの矢の光によって進みます。あなたのきらめく槍のひらめきによって。
- 12 あなたは、激しい憤りをもって地を行き巡り、怒りをもって国々を踏みつけられます。
- 13 あなたは御民を救うために、油注がれた者を救うために出て来られます。あなたは悪しき者の頭を打ち砕いて首までにし、彼の家の基をあらわにされます。セラ
- 14 あなたは杖で戦士たちの頭を突き刺されます。彼らは、苦しむ者をひそかに食い尽くすように、ほしいままに私を追い散らそうと荒れ狂います。
- 15 あなたは馬で海を、大水の泡立ちを踏みつけられます。
- 16 その音を聞いたとき、私のはらわたはわななき、唇は震えました。腐れは私の骨の内に入り、足もととはぐらつきました。攻めて来る民に臨む苦しみの日を、私は静かに待ちます。
- 17 いちじくの木は花を咲かせず、ぶどうの木には実りがなく、オリーブの木も実がなく、畑は食物を生み出さない。羊は囲いから絶え、牛は牛舎にいなくなる。
- 18 しかし、私は主にあって喜び躍り、わが救いの神にあって楽しもう。
- 19 私の主、神は、私の力。私の足を雌鹿のようにし、私に高い所を歩ませる。指揮者のために。弦楽器に合わせて。